

【お知らせ】名称変更および予約体制変更について

本日2023年4月1日をもって、日本獣医生命科学大学附属ワイルドライフ・ミュージアムは、日本獣医生命科学大学附属博物館に名称を変更いたしました。

また受け入れを停止していた団体による見学について、本日から受け入れを再開いたします。

引き続き、当博物館へのご来館およびご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

■館名変更の概要

新館名：日本獣医生命科学大学附属博物館

英語表記：Nippon Veterinary and Life Science University Museum

変更日：2023年4月1日

■開館情報

- ・開館日時 火曜日～土曜日 10:30～17:00(最終入館および物販は16:30まで)
- ・休館日 日曜日・月曜日・祝日、年末年始、大学の定める休日(その他臨時休館あり)
- ・入館料 無料
- ・入館方法 事前予約制

(個別見学は見学希望日の3開館日前までに、団体見学は2週間前までに要予約)

■見学の予約について

<https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/004/access/index.html/>

開館情報ページの「個別見学のご予約について」および「団体見学のご予約について」をご参照ください

【活動日誌125】令和5年度入学式

本日は本学の令和5年度の入学式となります。博物館スタッフ一同、新しく本学に入学された皆様に心からお祝いを申し上げます。

今年度は、大学としては75回目の入学式となります。今年はCOVID-19の感染対策として、午前・午後の2回に分けての実施となり、数年ぶりに親御さんもお参加いただける形での開催となりました。

当館では本日、新入生の皆さま、ご家族の皆様に見学していただけるよう、特別開館としております。明日からはまた通常開館となり、学外からお越しの方もご見学いただけますが、見学にご予約が必要となります(新入生を含む学生はいつでも見学OKです)。2022年度企画展の開催期間もあと1か月ほどとなりますので、ぜひご来館ください。



- ① 入学式会場入口
- ② 学内の様子
- ③ 特別開館のご案内
- ④ 2022年度企画展 獣医学教育用掛図展～獣医解剖学の系譜と本学の教育

【お知らせ】博物館が協力した動画が公開されました

日本医科大学、日本獣医生命科学大学は、令和4年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境イニシアティブ(女性リーダー育成型)」に採択されました。女性研究者の上位職登用、女性・若手研究者の育成などを目指し、様々な事業を進めるものです。

2月に掲載した記事で、事業の広報用の動画撮影に博物館が協力した事をご紹介していましたが、広報動画が公開されましたのでお知らせいたします。博物館の活動が映るのは一瞬ではありますが、本学のこの事業への取り組みがわかりやすくまとめられていますので、ぜひご覧ください。

(学芸員 石井)

■ダイバーシティ事業ウェブサイト「One Health」：女性リーダー育成型

<https://one-health.jp/project/>

事業の詳細はこちらをご覧ください(ページの下部にて動画が公開されています)

<https://bit.ly/3oNvizl>

動画を直接ご覧になりたい方はこちらにアクセスしてください

■【活動日誌120】本学法人による取材に対応しました

<https://bit.ly/3SDUDX9>

撮影の様子はこちらの記事で紹介しています

【活動日誌126】教材用羽根標本の作成

当館では、在学生や大学の見学者向けのほか、社会連携事業の一環としてワークショップを実施しており、ワークショップ等で教材に利用できる動物の骨や鳥の羽根などの収集、教材用の標本の作製等も継続しています。

先日は、キジバトの翼を用いた羽根標作りを行いました。このハトの翼は2021年に学内で発見されたものです。何者かに捕食されたようで、翼部分だけが残されていたため、博物館スタッフが回収し、採取後に冷凍保存していました。今回の作業では本学野生動物学研究室の卒業生であり、「やまがたヤマネ研究会」代表の中村夢奈さんにご協力をいただきました。

まず翼をアルコールで洗浄し、羽根を一枚ずつ翼部分から取り外して、雨覆羽、風切羽をセットにして台紙に配置、張り付けする作業を行いました。これに採集日、種名等の情報を明記して額に入れることで、教材用の羽根標本となります。

やまがたヤマネ研究会とは今後もワークショップや資料収集、標本作成などで相互協力を進めていく予定です。

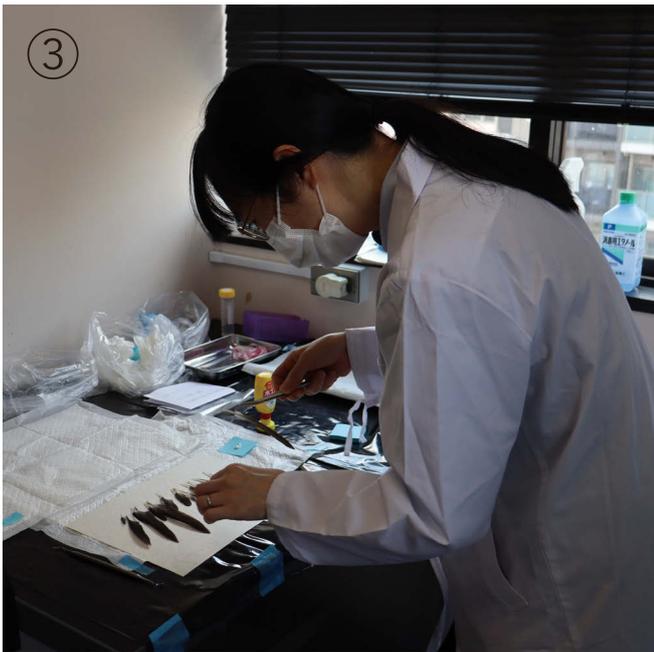
*野生動物の羽などを採取したり、標本作成のための作業をしたりする際は、衛生面の注意が必要です。

(スタッフ 廣瀬)

■【活動日誌29】羽の持ち主

<https://bit.ly/41edKub>

羽を採取したときの様子はこちらの記事で紹介しています



- ① 羽根が揃っているかを確認中
- ② 洗浄した羽根を乾燥させる様子。ペット用のトイレシートを活用すると良いと教えていただきました。
- ③ 台紙に羽根を張り付けている様子。羽軸の先端に少量のボンドをつけ、1枚ずつ貼り付けます。
- ④ 羽根を張り付け終わった状態

【お知らせ】

犬の脳腫瘍治療に新たな一手を！～クラウドファンディング～

本学は現在、犬の脳腫瘍治療の研究を進めています。犬の脳腫瘍は人間よりも発生率が高く、その治療には飼い主の方と犬に経済的、精神的な負担が多くのかかります。

そこで本学の放射線学研究室の長谷川教授をはじめとする共同研究チームでは、人の悪性脳腫瘍に用いられている非常に高価な抗がん剤を用いた、新しい治療法の研究を進めています。この薬剤を用いることで、手術後の放射線治療の負担をなくすことができると期待しています。今回この研究の推進のために、この薬剤を購入する資金にご寄付を募るクラウドファンディングを立ち上げました。クラウドファンディングが成功すれば、希望される患者さん(犬)の脳腫瘍手術で使って、有効性と安全性を評価することができます。

犬の飼い主の方と患者犬の負担を少しでも減らすために、ぜひこのクラウドファンディングにご協力ください。暖かいご支援をお待ちしております。

■クラウドファンディング概要

- ・ プロジェクト名：「犬と飼い主の負担を減らすために、犬の脳腫瘍治療に新たな一手を！」
- ・ URL：<https://readyfor.jp/projects/k9braintumor>
- ・ 募集期間：2023年4月10日(月)9:00～2023年5月31日23:00

※今回のプロジェクトへのご寄付は寄附金控除の対象となります。

※インターネット上でのお手続きが難しい方向けに、代理支援を実施いたしますので、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

<クラウドファンディングの詳細・代理支援お問い合わせ先>

日本獣医生命科学大学 事務局事務部庶務課

メール：shomu@nvl.u.ac.jp 電話：0422-31-4151

2023年4月20日の記事

【World Veterinary Day】

4月の最終土曜日、今年の場合は4月29日が「世界獣医の日」(WVD: World Veterinary Day)です。世界獣医の日は、日本獣医師会もメンバーとなっている世界獣医学協会(WVA: World Veterinary Association)が提唱する、世界中の獣医師の仕事と、動物の健康と福祉、そして公衆衛生の向上への貢献を称える記念日です。

WVAはこの記念日に合わせたイベントとして世界獣医師会議(World Veterinary Association Congress)を開催するとともに、世界獣医の日賞(World Veterinary Day Award)の受賞者の選定も行っています。世界獣医の日賞は、毎年のWVDのテーマを促進する活動をしているWVAの会員を対象とします。今年、2023年のテーマは「Promoting Diversity, Equity, and Inclusiveness in the Veterinary Profession」となっています。

世界中で、この記念日の趣旨に沿って様々なイベントや活動が行われていますが、日本では日本獣医師会が世界獣医の日の理念に基づいたイベント(動物感謝デー in JAPAN "World Veterinary Day")を毎年秋から冬にかけて開催しています。

当館では今後、獣医学の展示を充実していく予定です。

#WorldVeterinaryDay

■日本獣医師会が主催する「動物感謝デー in JAPAN "World Veterinary Day"」

<https://doubutsukansha.jp/2022/pdf/doubutsukansha2022.pdf>

※昨年度のイベントの情報です

■World Veterinary Day 2023のテーマ発表

<https://bit.ly/40Gq590>



【活動日誌127】自然系展示室内の配置換えを行いました

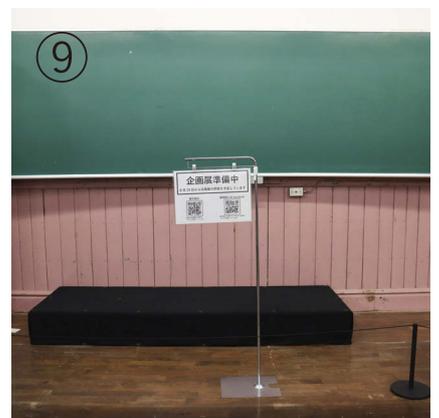
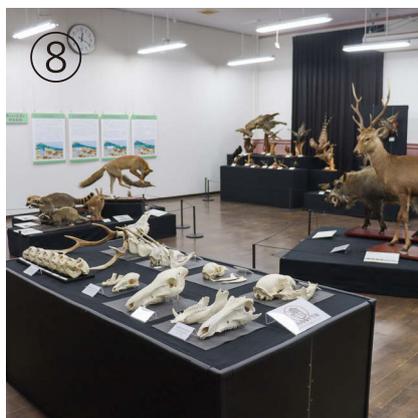
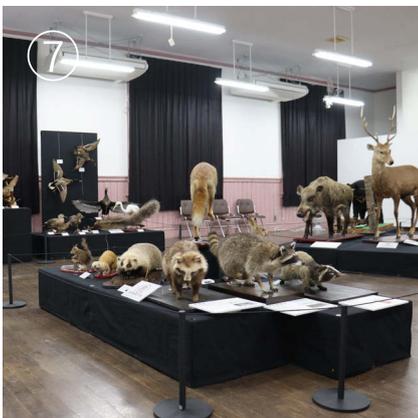
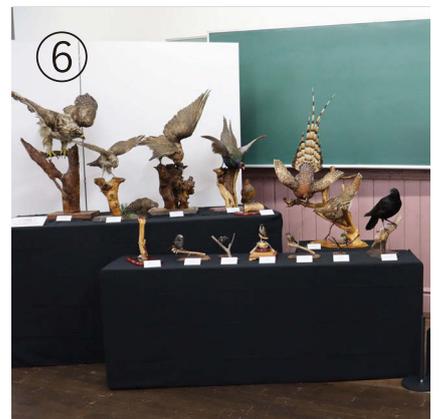
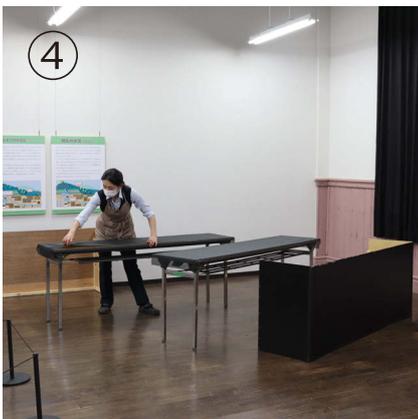
現在の自然系展示室内の剥製の配置は、昨年の展示再開時から変更をしていません。展示再開時はコロナ禍ということを考慮し、可能な限り密を避け、ゆったりと剥製を見ることができる部屋にすることを心がけて配置を決めましたが、来館者の方からは展示内容の充実を求めるご意見を多数いただいていたので、展示内容を充実させていくためにも、自然系展示室内の剥製の配置を変更することにしました。

配置換えは3日間かけて実施し、この間、自然系展示室は臨時で閉鎖とさせていただきました。最初に、事前にパソコン上で検討した配置図を元に、博物館スタッフが展示台と剥製を移動させました。小さな野鳥の剥製は移動が容易ですが、ツキノワグマやイノシシのような大型の剥製は重量があるため同じ部屋内の移動であっても一苦勞です。特にニホンジカの剥製は角が重く、重心が上にあるため、移動の際は細心の注意が必要でしたが、無事移動することができました。

今回の配置換えで、自然系展示室の中の1/3ほどのスペースを確保することができました。このスペースを活用して、8月から企画展を開催することを予定しています。今後の展示替えについてもfacebookで報告をしていく予定となっていますので、どうぞお楽しみに。

なお、配置換えの間は自然系展示室を閉鎖していましたが、来週からは自然系展示室をまたご見学いただけるようになります。皆様のご来館をお待ちしています。

(学芸員 石井)



- ① 配置図を確認するスタッフ
- ② 剥製を移動させるスタッフ
- ③ 骨格標本の展示台(配置換え前に撮影)
- ④ 骨格標本の展示台を移動させるスタッフ。骨格標本の展示台はスタッフの手作りで、中には折りたたみの長机が入っています。
- ⑤ 配置換え前の様子①
- ⑥ 配置換え前の様子②
- ⑦ 配置換え後の様子①
- ⑧ 配置換え後の様子②
- ⑨ 企画展スペース

【お知らせ】GWに伴う休業について

ゴールデンウィークに伴う休業についてお知らせいたします。

2023年4月29日から5月8日までの間は博物館を休業させていただきます。休業期間中は見学の受け入れ・発行物の発送・お問い合わせに対する回答を停止いたします。

4月28日および5月9・10・11日の見学のご予約の受け付けはすでに終了しております。5月12日以降の見学予約受け付けは5月9日から再開いたします。

ご不便をおかけいたしますが、ご了承くださいませようお願いいたします。

■休業日程

2023年4月29日(土)～5月8日(月)

■来館案内

<https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/004/access/index.html/>

見学のご予約についてはこちらのページをご確認ください